

令和6年度 第2回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和7年1月30日（木曜日） 10時00分～11時45分

【場所】

山梨県防災新館407・408会議室（甲府市丸の内一丁目6番1号）

【内容】

15名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、行政や各団体におけるプラスチック対策に関わる活動について、以下のとおり意見を交わしました。また、連絡協議会規約の改正及び新たな山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画の策定状況について、報告がありました。

そして、前回提案のあったプロジェクトチームの設置について、再度、委員より提案がありました。

1. やまなしプラスチックスマート連絡協議会規約の改正

- ・協議会構成団体の解散に伴う（別表）の変更
※海ごみゼロ運動プロジェクトやまなし実行委員会
令和7年1月30日施行

2. 県の事業報告

- ・プラスチックごみ等発生抑制のための県民向け学習会
- ・ロゴマークの作成

【構成団体からのご意見】

- ・今回このイベントに参加できなかったのですが、パンフレットの提供をさせていただいたところ。今後もこうしたイベント等あれば、ご協力させていただきたいと思います。
- ・親子連れの子供たちの熱気がすごかったです。やはりさかなクンの力はすごいなと思いました。何らかの影響を子供たちに与えてくれるだろうなというふうに思いまして、よかったと思います。

3. 協議会団体等の事業・成果報告

○一般社団法人山梨県消費者市民社会推進協議会

『当協議会における消費者市民社会に対する教育啓発指針』

- ・環境保全について、教育と意識啓発に重点を置いており、学校教育に取り組んでいる。
- ・高等学校においては、講座・ワークショップ形式で授業を進めた。小中学校においては、オープンスクール或いは授業参観を利用し、保護者も参加する形式で授業を行った。
- ・一般向けにもシンポジウムの開催など啓発事業を行った。

【構成団体からのご質問】

- ・ 学校もなかなかお忙しい状況があると伺っているところですが、小中学校との連携という機会を作るときに、どのように進められているか、どんなご苦労があるのか伺いたいです。

→ まず、交渉の第一歩として首長、教育長との会合を行います。その後学校単位で担任の教師或いは家庭科の教員等と打ち合わせを行い、授業に展開します。前年に予定をたてるものなので、今現状、来年度の準備を行っております。授業の日程に関しても、学校優先で考えており、極力親御さんも参加できるように、一般啓発も伴ってという方向性に向けております。

○山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

『「マイクロプラスチックストーリー」上映、スーパーの野菜のはだか売り状況調査、人工芝調査』

- ・ ドキュメンタリー映画の鑑賞会、感想シェア会を実施。今後も上映を行っていきたい。
- ・ 食品トレイ、野菜の裸売りに焦点を当ててスーパーの環境調査を実施した。
- ・ 他都県における人工芝導入状況アンケート調査の結果について、人工芝の流出防止策が施されていない施設が半数以上であった。
- ・ 「作る責任」だけではなく「使う責任」についても考えていかなければならない。

【構成団体からのご質問・ご意見】

- ・ 野菜や果物の個別包装について、県内の中で、この場所は少ないけど、この場所は多いということがもしわかれば教えていただきたいです。

→ スーパーを特定するようなデータは控えたいと思います。県外から入ってきているものは、袋に入っているものが多いという傾向があります。

- ・ 積極的に公平な立場で調査等やっているで、これを山梨県としては伸ばしていかなきゃならないのではないかと非常に強く感じています。
- ・ ネットワークを作ってやれば、山梨県中でこういう調査をよりちゃんとしたものにできると思います。

○認定 NPO 法人スペースふう

『使い捨てからリユースへ』

- ・ イベント会場からは多くの使い捨てごみが排出されているため、リユ-

ス食器のレンタルを開始。

- ・ 繰り返し使用することで、環境負荷の低減が期待される。
- ・ リユース食器の普及に向けて県内市町村の首長と意見交換を実施。
- ・ コロナ禍によりリユース食器の活用は大きく減少してしまったが、また1から頑張っていこうというところ。

4. 次期山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画の策定状況等の報告

○山梨県環境・エネルギー部環境整備課

- ・ 第1回やまなしプラスチックスマート連絡協議会以降の主な修正箇所について説明
- ・ 策定スケジュールについて説明

5. その他

『プロジェクトチームの設置について』

- ・ プラスチックごみ削減に向けて、ぜひ県民運動にしていけたらいいなと思っております。プロジェクトチームの形をどのようにするかはこの会議の決定になると思っておりますけれども、ご協力、参画してくださる団体が手を挙げていただければ嬉しいなと思っております。
- ・ 3つの観点から、私たちが考えているものをお伝えします。①スーパーでの裸売りの野菜やトレー等への取り組み②学校教育における年間を通したプロジェクト（モデル校の設定）③自治体主体のイベントにおける「リユース化」の呼びかけ
- ・ 山梨県は底力があるのです。もう一度、マイバッグ運動のときの盛り上げというのをぜひやりたいということで、それに向けて動き出したいと思います。

【事務局回答】

- ・ 今日ご欠席の団体もいらっしゃいますので、事務局からすべての団体に今日のご提案内容を説明し、ご賛同をいただける方に橋渡しをさせていただいて、そこでいろいろ議論を進めていく中で、次の会議のときにもう少し深い協議ができたと思います。

【構成団体からのご意見】

- ・ 「手を挙げる」というのはよくないと思います。
- ・ ここの議事に上げてもらって、重要案件として次回に持ち越して出された方が、皆さんも時間があると思いますので、良いと思います。
- ・ いろいろな方からご意見をいただいたり、場合によっては会合を設けて対面で意見交換をしたりしながら、次の連絡協議会の場にしっかりとした内容でご提案できるような準備が進められればというふうに思います。